

2012年3月29日

TANAKA ホールディングス株式会社

---

## 田中貴金属グループ「貴金属に関わる研究助成金」の受賞者を発表

最高金額 500 万円を授与する「プラチナ賞」は、山形大学の栗原正人教授に決定  
プリントドエレクトロニクスの量産に向けた、革新的な銀粒子を開発した点を高く評価

---

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡本英彌）は本日、田中貴金属グループの 2011 年度「貴金属に関わる研究助成金」の受賞者を発表しました。最高金額 500 万円を授与する「プラチナ賞」は山形大学の栗原正人教授、200 万円を授与する「ゴールド賞」は大阪大学の開発<sup>かいほつ</sup>邦宏助教に決定するなど、合計 29 件の研究に対し、総額 1,480 万円の研究助成金を授与します。

本助成金制度は、「貴金属が拓く新しい世界」の実現に向け、貴金属を使用した研究・開発を行なう国内の機関への支援として、1999 年度から毎年実施されています。第 13 回目となる今回は、「貴金属が貢献できる新しい技術、商品の実用化に向けての研究・開発」をテーマに、自動車、エネルギー、環境、電気・電子、メディカル、バイオ、ナノなどの分野から研究を募集した結果、合計 118 件の応募がありました。

厳正な審査の結果、最高金額 500 万円を授与する「プラチナ賞」は、山形大学の栗原正人教授による「プリントドエレクトロニクス時代に向けた第二世代の銀ナノ微粒子とその革新的製造技術」に決定しました。印刷技術で電子部品を製造するプリントドエレクトロニクスの分野で、導電性のインクとして使われる貴金属ナノ粒子ペーストについて、従来より大幅に向上した低温焼結性と、実用レベルのコストで銀粒子を大量生産することができる革新的な製造技術が高く評価されました。次世代エレクトロニクス技術と日本のものづくりに大きく貢献することが期待されます。

また、200 万円が授与される「ゴールド賞」は、大阪大学の開発<sup>かいほつ</sup>邦宏助教による「ヘアピン型ペプチド核酸を用いたタミフル耐性ウイルスの迅速診断キットの開発」に決定しました。薬剤耐性菌やウイルスなどの診断には、遺伝子の変異部位を迅速かつ簡便に検出することが、今後ますます重要になります。この変異部位を検出する診断デバイスの開発に独創性の高いペプチド核酸と貴金属ナノ粒子を応用した点が高く評価されました。

その他「シルバー賞」8 件、「MMS 賞」19 件、および本助成金実施概要については次頁の通りです。なお、2012 年度の研究助成金については、今秋に募集を開始する予定です。

## 2011 年度「貴金属に関わる研究助成金」の受賞者一覧

### プラチナ賞（1件、500万円）

山形大学 教授 栗原 正人	プリンテッドエレクトロニクス時代に向けた第二世代の銀ナノ微粒子とその革新的製造技術
------------------	---

### ゴールド賞（1件、200万円）

大阪大学 助教 開發 邦宏	ヘアピン型ペプチド核酸を用いたタミフル耐性ウイルスの迅速診断キットの開発
------------------	--------------------------------------

### シルバー賞（8件、各50万円）

宇都宮大学 教授 伊藤 直次	金属糊を利用した高耐久性パラジウム薄膜の作製と水素精製
-------------------	-----------------------------

大分大学 助教 衣本 <sup>きぬもと</sup> 太郎	固体高分子形燃料電池用貴金属電極触媒高性能化のための次世代カーボン担体の創製
----------------------------------	--

大阪府立大学 准教授 齊藤 文靖	Ag（銀）-カーボンナノチューブ高密度複合フィラーの導入による熱伝導樹脂の特性改善
---------------------	---

産業技術総合研究所 特別研究員 山本 裕子	貴金属量子結晶の実用化：三百埃分の一を検出する生理活性分子分析用SERSバイオチップの開発
--------------------------	---

千歳科学技術大学 教授 長谷川 誠	Ag及びAg系材料の電気接点材料としての動作特性の再検討
----------------------	------------------------------

東京工業大学 教授 中川 茂樹	超大容量グラニューラ-磁気テープ開発におけるRu（ルテニウム）中間層の高機能化薄膜技術
--------------------	---

東北大学 助教 飯塚 淳	超音波マイクロバブル浮選を用いた貴金属化合物コロイドの分離
-----------------	-------------------------------

東北大学 准教授 林 大和	固液系反応場と貴金属を利用した電子実装用金属ナノ粒子の高機能・高付加価値化
------------------	---------------------------------------

### MMS賞（19件、各20万円）

愛知工科大学 准教授 大竹 才人	大阪大学 博士後期課程 徳野 剛大
------------------	-------------------

大阪大学 教授 福住 俊一	大阪大学 教授 山本 孝夫
---------------	---------------

大阪工業大学 講師 藤井 秀司	岡山大学 助教 仁科 勇太
-----------------	---------------

九州大学 助教 高橋 幸奈	九州大学 准教授 安田 琢磨
---------------	----------------

信州大学 教授 小泉 安郎	筑波大学 助教 近藤 剛弘
---------------	---------------

東京工業大学 助教 道信 剛志	東京理科大学 助教 小澤 弘宜
-----------------	-----------------

東京理科大学 講師 根岸 雄一	東洋大学 教授 蒲生西谷 美香
-----------------	-----------------

名古屋大学 准教授 是津 信行	兵庫県立大学 准教授 乾 徳夫
-----------------	-----------------

北陸先端科学技術大学院大学 准教授 前之園 信也	北海道大学 助教 七分 勇勝
--------------------------	----------------

北海道大学 准教授 松尾 保孝	
-----------------	--

## 2011年度「貴金属に関わる研究助成金」募集概要

【分野】自動車、エネルギー、環境、電気・電子、メディカル、バイオ、ナノなど商品化・実用化において、貴金属が重要な役割を果たす研究内容であること。貴金属に関する開発が、その商品化・事業化の進捗にブレークスルーをもたらす内容であること。

【テーマ】貴金属が貢献できる新しい技術、商品の実用化に向けての研究・開発

### 【助成金額】

- ・プラチナ賞 500万円（1件）
- ・ゴールド賞 200万円（1件）
- ・シルバー賞 50万円（数件）

研究助成の対象期間は、原則1年間。

該当の助成金額は奨学寄付金として取り扱います。

各賞は、実用化に向けて特に大きな貢献が認められると判断されるものを対象としており、「受賞該当なし」の場合もあります。

【募集対象】日本国内の教育研究機関あるいは公的研究機関に所属されている方

【募集期間】2011年9月1日（木）～11月30日（水）17:00 エントリー分まで

【応募総数】118件

### 【応募条件】

- ・研究を通じて製品開発、技術開発、指導など、当社と情報交換をしていただく場合があります。
- ・他の貴金属材料メーカーと共同開発を行なっているもの（予定も含む）は、その旨を明記してください。
- ・すでに商品化・事業化が実施あるいは予定されているものは除きます。
- ・分析、評価、生産技術などの基礎研究は除きます。
- ・学生の方のご応募は、所属する研究室の責任者の了承を得てご応募ください。

### 【研究助成金制度に関するお問い合わせ】

「貴金属に関わる研究助成金」事務局

田中貴金属販売株式会社 マーケティング部 MMS セクション

〒100-6422 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング22階

TEL: 03-5222-1301 FAX: 03-5222-1309 E-mail: joseikin@ml.tanaka.co.jp

公式サイト: <http://prexnet.jp/>

## TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885年

設立：1918年

資本金：5億円

グループ連結従業員数：3,456名（2010年度）

グループ連結売上高：8,910億円（2010年度）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HPアドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（工業製品）

### <田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核8社は以下の通りです。

- ・TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中貴金属販売株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社